

科目名		編曲Ⅰ		担当講師		谷津祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	講義・実習
期 間		1期・2期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		メロディとその他の要素との関連について理解し、簡単な編曲ができる力を修得する。					
2期		メロディとその他の要素との関連についての理解を深め、編曲に活用できる力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月18日	授業ガイダンス					
2	4月25日	メロディとその他の音楽を構成する要素について					
3	5月9日	スケールとキー1					
4	5月16日	スケールとキー2					
5	5月23日	音程					
6	5月30日	コード1					
7	6月6日	コード2					
8	6月13日	ダイアトニックコード1					
9	6月20日	ダイアトニックコード2					
10	6月27日	メロディとスケール、コードの関連1					
11	7月4日	メロディとスケール、コードの関連2					
12	8月22日	メロディに対するコード編曲1					
13	8月29日	メロディに対するコード編曲2					
14							
15							
評価方法		B評価 定期試験(筆記試験)の素点および実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		随時授業にてプリント配布					
注意事項		39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		アンサンブル I		担当講師		山良一/川畑統正/中田有紀/岸林大	
講師実務経験		プロミュージシャン					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	29 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		授業を通じてアンサンブルとは何かを理解し修得する。					
2期		グループに分かれてオリジナル曲を作り上げる力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月18日	授業ガイダンス					
2	4月20日	バンドアンサンブルの基本① / オリジナル曲作成の基本①					
3	4月25日	バンドアンサンブルの基本② / オリジナル曲作成の基本②					
4	4月27日	バンドアンサンブルの基本③ / オリジナル曲作成の基本③					
5	4月26日	バンドアンサンブルの基本④ / オリジナル曲作成の基本④					
6	4月28日	バンドアンサンブルの基本⑤ / オリジナル曲作成の基本⑤					
7	5月10日	バンドアンサンブルの基本⑥ / オリジナル曲作成の基本⑥					
8	5月17日	バンドアンサンブルの基本⑦ / オリジナル曲作成の基本⑦					
9	5月19日	バンドアンサンブルの基本⑧ / オリジナル曲作成の基本⑧					
10	5月24日	バンドアンサンブルの基本⑨ / オリジナル曲作成の基本⑨					
11	5月26日	バンドアンサンブルの基本⑩ / オリジナル曲作成の基本⑩					
12	5月31日	Fブースミニライブ(全員で1曲)					
13	6月2日	グループ分け/オリジナル曲を作るにあたって					
14	6月7日	オリジナル曲作成①と伴奏編成					
15	6月9日	オリジナル曲作成②と伴奏編成					
16	6月14日	オリジナル曲作成③と伴奏編成					
17	6月16日	オリジナル曲作成④と伴奏編成					
18	6月21日	オリジナル曲作成⑤と伴奏編成					
19	6月23日	オリジナル曲作成⑥と伴奏編成					
20	6月28日	オリジナル曲作成⑦と伴奏編成					
21	6月30日	オリジナル曲作成⑧と伴奏編成					
22	7月5日	オリジナル曲作成⑨と伴奏編成					
23	8月18日	オリジナル曲作成⑩と伴奏編成					
24	8月23日	オリジナル曲作成⑪と伴奏編成					
25	8月25日	オリジナル曲作成⑫と伴奏編成					
26	8月30日	オリジナル曲作成⑬と伴奏編成					
27	9月1日	オリジナル曲作成⑭と伴奏編成					
28	9月6日	オリジナル曲演奏					
29	9月8日	前期試験にむけて					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		87時間中30時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		作曲Ⅰ		担当講師		谷津祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	135 分
期		修 得 目 標					
1期		曲の構成を分析し、それに沿って簡単なメロディーを作曲できる力を修得する。					
2期		歌詞やコードとメロディーの関連を分析し、簡単なメロディーを作曲できる力を修得する。					
回数	日程						
1	4月19日	授業ガイダンス／既製の楽曲の分析1					
2	4月26日	分析をもとにした模倣					
3	5月10日	既製の楽曲の分析2					
4	5月17日	分析をもとにした模倣					
5	5月24日	既製の楽曲の分析3					
6	5月31日	分析をもとにした模倣					
7	6月7日	既製の楽曲の分析4					
8	6月14日	分析をもとにした模倣					
9	6月21日	コードからの作曲1					
10	6月28日	コードからの作曲2					
11	7月5日	コードからの作曲3					
12	8月23日	課題作成1					
13	8月30日	課題作成2					
14							
15							
評価方法		B評価 定期試験(筆記試験)の素点および実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		随時授業にてプリント配布					
注意事項		39 時間中 14 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		リズム I		担当講師		神田直樹	
講師実務経験		音楽教室勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
1期		音符や休符の知識を修得する。					
2期		リズムの仕組みを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月19日	拍と小節、4分と8分それぞれの音符と休符を修得する					
2	4月26日	16分音符、休符と構成音(4音構成、3音構成)の修得する					
3	5月10日	16分音符、休符と構成音(2音構成、1音構成)の修得する					
4	5月17日	8分3連符と構成音(3音、2音、1音構成)を修得する					
5	5月24日	8分音符のクリック移動を修得する					
6	5月31日	タイとスラー、シンコペーションを修得する					
7	6月7日	リズムを構成する音の要素を修得する					
8	6月14日	アクセントとバックビートの知識を修得する					
9	6月21日	フィールとビートの知識を修得する					
10	6月28日	実技試験対策					
11	7月5日	実技試験					
12	8月23日	ブレイクとキメの知識を修得する					
13	8月30日	筆記試験対策					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ギター実習Ⅰ		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト / ヤマハ認定講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	17 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		ギター演奏の基本技術と知識の修得する。					
2期		基礎を固め、音楽的な応用等を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月20日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズのレクチャー					
2	4月27日	フォームチェック、ピッキングやフィンガリング					
3	5月18日	カッティングエクササイズ、ミュート、ストローク、リズムなど					
4	5月25日	スケールエクササイズ、メジャースケール、インポジション					
5	6月1日	コードについて、オープンコード～バレーコードの仕組みと基本					
6	6月8日	コードについて、リズムコードのレクチャー					
7	6月15日	ブルースフォームによるリズムやコード					
8	6月22日	ブルースフォームによるテーマ、メロディ					
9	6月29日	メジャースケールエクササイズ、ブローケンポジション					
10	7月1日	マイナースケールについて種類と特徴					
11	7月6日	オルタードスケールについて種類と特徴					
12	7月8日	マイナースケールについて応用					
13	8月17日	オルタードスケールについて応用					
14	8月19日	ブルースの発展 ジャズ ブルース					
15	8月24日	ブルースの発展 ロック ファンク					
16	8月26日	ファンクリズムの導入と応用					
17	8月31日	ファンクリズムの導入と応用 その2 / インプロビゼーションの基本について					
18							
評価方法		B評価 定期試験点数(70%)実技修得度(30%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:授業を通じて評価する					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		51時間中18時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音楽理論I		担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		1 期・2 期	総授業回数	13 回	1 回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
1 期		楽譜に関する知識と音程、スケールを理解し コードの仕組みを修得する。					
2 期							
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	譜表と音名、音符と休符					
2	4月21日	リズムと拍子、連桁					
3	4月28日	音程とメジャースケール①					
4	5月19日	音程とメジャースケール②					
5	5月26日	マイナースケール①					
6	6月2日	マイナースケール②					
7	6月9日	音程とスケールについてのまとめ					
8	6月16日	近親調					
9	6月23日	五度圏					
10	6月30日	楽譜に用いられる記号や用語					
11	7月7日	コード①					
12	8月18日	コード②					
13	8月25日	コード③ コードの総復習、試験対策					
評価方法		定期試験点数(100%)、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 評価方法：A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可					
テキスト							
注意事項		26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）					

科目名	キーボード実習				担当講師	水口 陽子		
講師実務経験	ピアノ講師							
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習	
期 間	1期・2期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		90	分
期	修 得 目 標							
1期	DTMや作曲、編曲をする際にキーボード活用できるよう、鍵盤上でのリズムやコードの理解を目指し、基礎トレーニングを含めコードワークや奏法を習得する。							
2期								
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	4月14日	授業概要及び基本トレーニング方法とスケールの運指について						
2	4月21日	基本トレーニング スケール練習 トライアドの習得						
3	4月28日	基本トレーニング トライアド+6th,7th,M7thの習得						
4	5月19日	基本トレーニング アルペジオ						
5	5月26日	基本トレーニング コード転回						
6	6月2日	基本トレーニング コードワーク（4、8、16beatの弾きわけ）						
7	6月9日	基本トレーニング aug、b5の習得						
8	6月16日	基本トレーニング diminishの習得						
9	6月23日	基本トレーニング コードワーク（スムーズなコードチェンジ）試験曲						
10	6月30日	基本トレーニング 4beatフレーズ（シャッフル記号における）試験曲						
11	7月7日	基本トレーニング グリッサンド奏法 試験曲						
12	8月18日	基本トレーニング パラディロール 試験曲						
13	8月25日	基本トレーニング キーボードアンサンブル仕上げ 実技試験						
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト								
注意事項	28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）							

科目名		作詞 I		担当講師		吉田佳代	
講師実務経験		シンガーソングライター					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態	座学
期 間		1期2期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
1期		作詞の基礎を修得する。					
2期		構成を考慮し第三者にテーマを表現を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	詩の大切さを理解する。テーマと素材について。					
2	4月21日	1番の構成のバランス					
3	4月28日	2番の構成のバランス					
4	5月19日	タイトルの付け方					
5	5月26日	心情を情景で表現する					
6	6月2日	積み上げ法					
7	6月9日	音数率					
8	6月16日	推敲・言葉の重複について					
9	6月23日	体言止め					
10	6月30日	比喩(直喩)					
11	7月7日	比喩(暗喩)					
12	8月18日	倒置法					
13	8月25日	リフレイン					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		26 時間中 9 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		PA実習(選択)		担当講師	久本 晃三
講師実務経験		音響会社勤務			
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者	授業形態
期 間		1 期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間
期		修 得 目 標			
1期		PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いが出来るようになり修得する。			
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日 5月20日 6月10日	オリエンテーション、ケーブル巻き			
2	4月22日 5月27日 6月17日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い			
3	5月6日 6月3日 6月24日	PAセットを組んで音を出してみる。			
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価			
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)			
テキスト		資料配布			
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)			

科目名		REC実習(選択授業)		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		株式会社スタジオバードマン勤務(平成5年～平成13年)					
対象学年		1 学年	対象専攻	1年A・B・C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1 期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		レコーディング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	スタジオの作りを理解し、レコーディングエンジニアの職業を理解する。簡単なラフミックス体験					
2	5月20日 5月27日 6月3日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクをセッティングし録音。録音の作業工程を理解する。					
3	6月10日 6月17日 6月24日	バンド録音(マイクセッティング～録音～ラフミックスまで)完パケを作成。					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法		2/3以上の出席で「修得済」評価					
評価		修得済評価(点数評価は行わない)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		全選択9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 照明実習		担当講師		笹出 将太	
講師実務経験		照明音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	授業ガイダンス。照明という仕事について、音楽に対してのプランニングについて					
2	5月20日 5月27日 6月3日	仕込み作業について					
3	6月10日 6月17日 6月24日	光の演出効果について					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 テレビ番組制作		担当講師		田端 優一	
講師実務経験		放送局関連会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		基本的な番組制作の流れとスタッフの役割を理解する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	授業ガイダンス～番組制作の現場について					
2	5月20日 5月27日 6月3日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について					
3	6月10日 6月17日 6月24日	テレビスタジオで番組の収録を行う					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法		2/3以上の出席で「修得済」評価					
評価		修得済評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		全選択9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		文書デザイン(選択授業)		担当講師		熊谷めぐみ	
講師実務経験		広告会社勤務・現フリーランスライター					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	演習
期 間		1	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		Wordを中心にPCの初歩的な基本操作を習得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	授業ガイダンス PC操作・Wordの基本的な操作・文書作成					
2	5月20日 5月27日 6月3日	Wordによるビジュアル文書の形式・作成 文書作成を行いながら、文字装飾や段組み、表や図の挿入・編集、ページ罫線を学ぶ					
3	6月10日 6月17日 6月24日	Wordによるビジュアル文書の形式・作成 1、2回で学んだことを生かし、指定した文書を制作する					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		適宜プリント配布					
注意事項		9時間中 4時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 ヴォーカル実習		担当講師		中田 有紀	
講師実務経験		ヴォーカルトレーナー、ヴォーカリスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1 期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		ヴォーカルトレーニングの基本を知り、修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	腹式呼吸での発声法、基本姿勢					
2	5月20日 5月27日 6月3日	課題曲レッスン					
3	6月10日 6月17日 6月24日	課題曲レッスン(コーラス、マイクワーク含)					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 ギター実習		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト / ヤマハ認定講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1 期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1 期		ギター演奏の基本技術と知識の修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ					
2	5月20日 5月27日 6月3日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲					
3	6月10日 6月17日 6月24日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ベース実習(選択)		担当講師		木村 圭子	
講師実務経験		ベーシスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		ベースの役割を学び、基礎スキルを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	BASSという楽器について(基本フォーム・運指トレーニング)					
2	5月20日 5月27日 6月3日	2finger奏法基礎 8feel groove 課題曲					
3	6月10日 6月17日 6月24日	Slap奏法基礎 16feel feel groove 課題曲					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ドラム実習(選択実習)		担当講師		岸林大輔	
講師実務経験		演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		Dr.Set、リズムの基本を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	Stick Control&Foot リズムスタイル					
2	5月20日 5月27日 6月3日	リズムスタイル#2、Fill-In					
3	6月10日 6月17日 6月24日	リズムスタイル#3、エチュード、まとめ					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価とする。					
評価		修得済評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		全選択9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		DTM I			担当講師		水口 陽子			
講師実務経験		ピアノ 講師								
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習		
期 間		1 期 ・ 2 期		総授業回数	13	回	1 回あたりの授業時間		135	分
期		修 得 目 標								
1 期		MIDI入力の方法を学び、奏法、フレージングに応じた打ち込み、エディットを修得する。								
2 期										
回数	日程	【授 業 計 画】								
1	4月15日	授業概要及び機材システムと使用ソフトの理解 新規プロジェクトの作成								
2	4月22日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得① クオンタイズ								
3	5月6日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得② コピー&ペースト								
4	5月20日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得③ ベロシティ								
5	5月27日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 スtringス								
6	6月3日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ブラッス								
7	6月10日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ドラム、パーカッション								
8	6月17日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ベース								
9	6月24日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ギター①								
10	7月1日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ギター②								
11	7月8日	前期課題制作①								
12	8月19日	前期課題制作②								
13	8月26日	前期課題制作③								
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点 （出席率、提出物、授業態度・取組状況など）								
評価		上記総合評価点 S (100-90) A (89-80) B (79-60) C (59-50) D (49以下 不可)								
テキスト										
注意事項		39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）								